

関係各位

令和2年7月吉日

令和2年度
東京学芸大学附属世田谷小学校
夏の教育研究セミナー

これからの教科の学習内容や授業づくりのあり方について考えたいという方、
私たちと一緒に学びませんか。今年度の夏は、以下の日程で3教科（領域）に絞り
オンラインで開催いたします。多くの方々のご参加をお待ちしております。

8
19
(水)

情 報

教育のSTEAM化を考える
～新たな学びの可能性に向けて～

時 間： 10：00～11：30

定 員： 80名（先着順）

講 師： 松下紗由美

（株式会社 Barbara Pool STEAM 事業部統括、
一般社団法人 STEAM JAPAN 事務局長）

国 語

「コロナ禍での授業の質を考える」

～これからの授業ってどうするの？子どもの学びを支える教師～

時 間： 13：00～14：30

定 員： 80名（先着順）

講 師： 東京学芸大学 教授 中村 和弘 先生

8
22
(土)

体 育

【脱『体育』～アソビズム宣言 2020～】

時 間： 13：00～16：00

定 員： 90名（先着順）

講 師： 日本体育大学 教授 奥村 高明 先生

参加費 ： 無料

申し込み方法： [本校ホームページより事前申込](#)をお願いします。

参加方法：お申込みいただいた方に、当日のタイムテーブルやオンライン会議の URL・
パスワードをお送りいたしますのでご参照ください。

主 催 ： 東京学芸大学附属世田谷小学校 後援 ： 世田谷区教育委員会
東京都教育委員会

< 内容の詳細 >

【日時】 令和 2 年 8 月 19 日（水） 13:00-14:30（1 時間 30 分）

【趣旨】

コロナ感染拡大防止による休校措置及び分散登校により、授業時間数の削減、カリキュラムの改変が余儀なくされている。その中で、指導事項をおさえた質が保障された授業が喫緊の課題であろう。

では、どのような授業をつくったらいいのか？短い時数で質が保障された授業なんてできるのか？そんな不安を解消するために、カリキュラム・マネジメントの考え方や、授業実践案、評価の在り方を提案させていただく。

今回の教育セミナーが、「これまでの授業観」、そして「これからの授業観」をともに考える機会になれば幸いである。

【テーマ】

「コロナ禍での授業の質を考える」

～これからの授業ってどうするの？子どもの学びを支える教師～

【講師】

東京学芸大学 教授 中村 和弘先生

演題「コロナ禍での国語の授業の工夫」ーカリキュラム・マネジメントを視野にー

【提案者】

西川 義浩先生 （文京区立駕籠町小学校）

福田 淳佑先生 （文教大学付属小学校）

清水 良先生 （文京区立林町小学校）

【プログラム】

時間	内容
12:30～13:00	ミーティングルーム受付
13:00～13:02	開会の挨拶・講師紹介
13:02～13:17	カリキュラム・マネジメント提案（清水良先生）： どうしてカリマネが必要？ー「学室経営案」の考え方ー
13:17～13:32	授業提案（福田淳佑先生）： 物語ってどう読むの？ー読みの位相ー
13:32～13:47	評価提案（西川義浩先生）： 新学習指導要領に沿った評価ってどうするの？
13:47～13:57	質疑【全体】
13:57～14:27	講演（中村和弘先生）： 「コロナ禍での国語の授業の工夫」ーカリキュラム・マネジメントを視野にー
14:27～14:30	アンケート、事務連絡
14:30	閉会の挨拶